

羽幌高校生 まちあかりします

12月15日、羽幌高校で廃油を利用したりサイクルキャンドルづくりが行われました。

これは、環境計画町民会議が呼びかけている、まちあかり運動にこたえたもので、使用済みの天ぷら油をあたため廃油処理剤を混ぜ、ガラスコップに注ぎ芯を入れてリサイクルキャンドルを作りました。使用済み天ぷら油はサンセットプラザと給食センターから提供されたものです。

参加した生徒は希望した15名。放課後、化学室に集まり先生の指導の下、各自好みの色のクレヨン混ぜながら、およそ30個の色とりどりのリサイクルキャンドルが作られました。

生徒はこのキャンドルで特別養護老人ホームしあわせ荘の玄関前を飾ることにしています。

この他、駅前ターミナル商店街でもリサイクルキャンドル

ルを作り商店街にあかりを灯します。

羽幌地区環境計画町民会議でも12月19日から役場や羽幌保育園、すこやか健康センターなどの前にリサイクルキャンドルを飾っています。

最近では、窓辺や庭先にイルミネーションを飾るお宅がとも増えてきたように感じます。寂しいと思われてきた羽幌の町並みも、少しずつですが変わりつつあるのではないのでしょうか。

みなさんも小さなあかりとあたたかい気持ちを道行く人に分けてあげませんか。

環境を良くする運動を、町民のみなさんと一緒に、自分の出来るところから、出来る時からすこしずつ始めて行きたいと思えます。あなたも、今からでも一人からでも出来ます。ちょっとだけ自分のまわりの環境に目を向けてみませんか。それが未来の子どもたちへ、素敵な環境を残して行けるカギだと思います。

- 1 化学室の風景。生徒達は真剣に取り組んでいます。
- 2 キャンドルの入れ物には、使わなくなったガラス容器を使います。
- 3 削ったクレヨンを混ぜることで色とりどりのキャンドルに。
- 4 天ぷら油に廃油処理剤を混ぜ加熱すると60度くらいで溶け始めます。
- 5 12月から羽幌保育園前で点灯中のリサイクルキャンドル。

